

Y-SDGs認証制度について

(抜粋版)

2021年10月19日



Y-SDGs認証の政策背景



I. 感染症対策と次なる危機への備え

- 感染症の治療・ワクチン・診断などの支援、公平なアクセスの確保
- 強靱かつ包摂的な保健システムの構築、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）の達成
- 栄養、水、衛生等の環境整備、東京栄養サミットを通じた世界的な栄養改善に向けた取り組み

III. SDGsを原動力とした地方再生、経済と環境の好循環の創出

- 2050年までに温室効果ガス実質ゼロ、グリーン産業、防災・減災、国土強靱化、質の高いインフラ
- 大阪ブルー・オーシャン・ビジョン実現、海洋プラスチックごみ対策、海洋資源の保全と利用
- SDGs未来都市、地方創生SDGs官民連携プラットフォーム、地方創生SDGs金融

II. よりよい復興に向けたビジネスとイノベーションを通じた成長戦略

- Society 5.0の実現、デジタルトランスフォーメーション推進、「新たな日常」の定着・加速
- ESG投資の推進、企業経営へのSDGs取り込み促進、ディーセントワークの促進
- バイオ戦略・スマート農林水産業など科学技術イノベーション（STI）の加速化

IV. 一人ひとりの可能性の発揮と絆の強化を通じた行動の加速

- 女性の参画、ダイバーシティ、バリアフリーの推進
- 人への投資、包摂的な社会
- 子どもの貧困対策、教育のデジタル・リモート化、持続可能な開発のための教育（ESD）
- 京都コンGRESや東京オリンピック・パラリンピックトウを通じて法の支配やスポーツSDGsを推進

SDGsを原動力とした地方創生に取り組む企業・事業の拡大

地域課題の発掘
見える化の推進

地域牽引企業、GNT(グローバルニッチトップ)発展
・地域雇用・域外資金獲得
・ソーシャルビジネス・ソーシャルベンチャー等

ビジネス本業での地方活性化取組推進
・ICT活用公共サービス・ドローン宅配・AI、IoT活用
・グリーンインフラ・建築・ヘルスケア(保険)、信託等

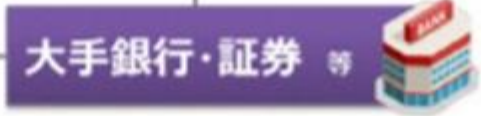
Society5.0の地域実装



【行政効率化・公共サービス高度化】
・公共事業・PPP/PFI
・SIB(ソーシャルインパクトボンド)
・地方税
・国税(交付金)
・公債

自律的好循環 (資金の還流と再投資)

金融機関によるSDGsを考慮した金融支援
(コンサルティング等、非金融サービス含む)



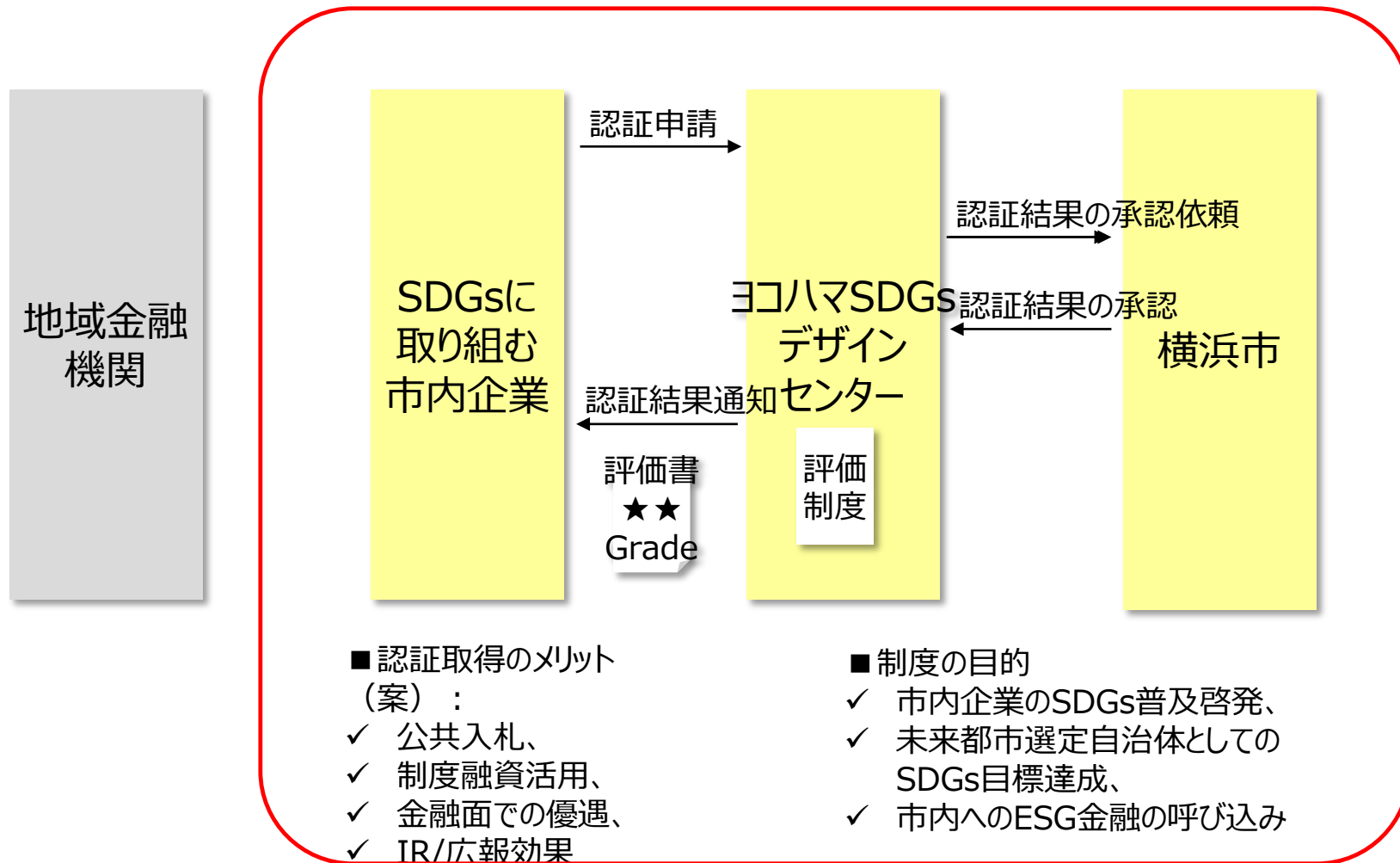
公的資金

民間資金

Y-SDGs認証の制度設計

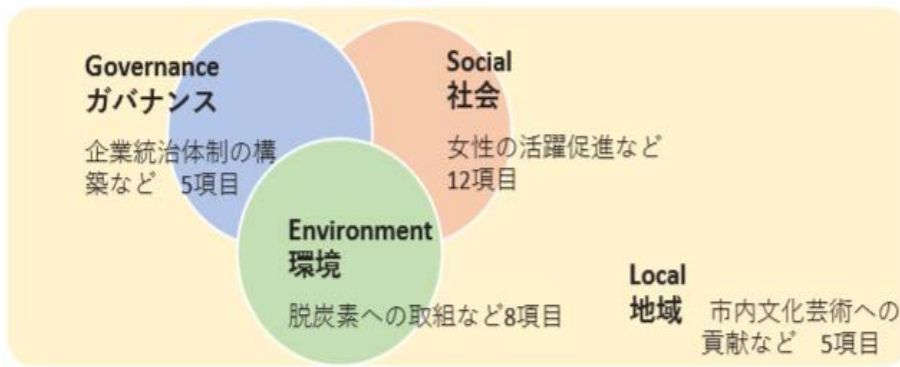


- ✓ 以下のプロセスで市内外の企業・団体の評価を行い、認証を発行




- ✓ 2020年8月に公開。SDGs達成にむけて取り組む企業・団体の事業者を、横浜市が認証し、見える化することで、事業者の更なる取り組みにつなげる

評価の概要と想定されるメリット



- 認証取得のメリット (案)
 - ✓ 公共入札、
 - ✓ 制度融資活用、
 - ✓ 金融面での優遇、
 - ✓ IR/広報効果
- 制度の目的
 - ✓ 市内企業のSDGs普及啓発、
 - ✓ 未来都市選定自治体としてのSDGs目標達成、
 - ✓ 市内へのESG金融の呼び込み

評価認証結果

認証区分	マーク	概要
最上位 Supreme		評価項目の約8割以上
上位 Superior		評価項目の約6割以上
標準 Standard		評価項目の約3割以上

- ✓ 制度設計において、制度の「実用性」、他取組との「整合性」、今後の「拡張性」を意識し、下表のような留意・工夫を行った

留意点・工夫点	実施内容
評価項目の設計における実用性・整合性の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・内閣府および経産省関経局の取組み等との整合性確保 ・SDGsの169のターゲット、未来都市計画との紐づけ ・投資家・金融機関との共通言語としての「ESG」 ・「横浜らしさ」としての「L」
多様な事業者・団体への配慮による参加促進	<ul style="list-style-type: none"> ・上場企業のESG評価基準を中小企業が使えるよう簡素化 ・非営利団体も認証取得可能な「読み替え版」提供 ・定型評価に加え、「チャレンジ」「イノベーション」「次世代」「持続性」「パートナーシップ」に加点評価
認証を申請する事業者への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市が有する既存登録制度との整合性確保 ・申請書記入時に迷わないための「具体例」の提供 ・認証取得のインセンティブ設計（*既に市が提供中）

✓ Y-SDGs認証取得を目指す企業（ヤマシンフィルタ株式会社）に対し、試行的評価を実施。その評価結果も参照しつつ、2020年12月25日に三井住友銀行が融資実行。

横浜市記者発表資料

令和2年12月25日
通商北苑発信本部
SDGs未来型推進課

**政令市初！
「横浜市SDGs認証制度“Y-SDGs”」の認証取得を目指す事業者に対し、
制度を活用した金融機関による融資が行われました。**

横浜市は、SDGs未来都市・横浜の創出に向け、ヨコハマSDGsデザインセンター（以下「デザインセンター」）が中心となり、身近な課題解決を世界の課題解決につながる様々な取組を、市民・事業者の皆様の応援により進めています。

横浜市は、本年11月に「横浜市SDGs認証制度“Y-SDGs”」（以下「Y-SDG」）の第1回認証事業者（29事業者）を募集し、企業・団体等（以下「事業者」）の各々がY-SDGsを活用しSDGsに取り組むことで、持続可能な経営・運営への転換、新たな顧客や取引先の拡大、さらには、投資家や金融機関が ESG 投資等の投資判断への活用につなげることを目指し、運用を進めています。

この度、株式会社三井住友銀行（以下「三井住友銀行」）が「Y-SDGs」の認証取得を目指す市内企業エムエスエヌ株式会社（代表取締役社長：山崎 敦彦）に対し、「Y-SDGs」を活用した融資を行いました。今回、三井住友銀行が本融資にあたり、株式会社日本総合研究所*（代表取締役社長：谷崎 豊樹）とともに、ヤマシンフィルタが作成した認証取得に必要なチェックシートを確認し、SDGsへの取組や、非財務情報の評価に準拠したものです。

本社は、「Y-SDGs」を活用した第1回の融資であり、自治体が推進したSDGsに関する認証制度が、金融機関の融資において活用された事例としては、政令市初となります。

今後、ますます多くの金融機関等の投資家にあたり「Y-SDGs」が活用され、市内外の事業者によるSDGsの取組支援につながることを期待するとともに、市民・事業者の皆様にSDGsを推進・体験いただける取組を、引き続き進めてまいります。

ヤマシンフィルタ株式会社
所在地：横浜市中央区本町1-1-8 日石横浜ビル11F
代表取締役社長：山崎 敦彦
事業内容：建設機械用フィルタ・農業用フィルタ・プロセス用フィルタ及び関連部品の製造・販売。

日本製 5枚装

レギュラーサイズ
175mm×95mm

YAMASHIN Nano Filter

フィルタ専門メーカーが開発した

**究極の
ヤマシン・
フィルタマスク**

超微細ナノファイバーがしっかりウイルス飛沫を捕集!

ナノフィルタが **99% カット**

捕集性能が落ちにくく、繰り返し使えます。

※1：マスクは感染を完全に防ぐものではありません。

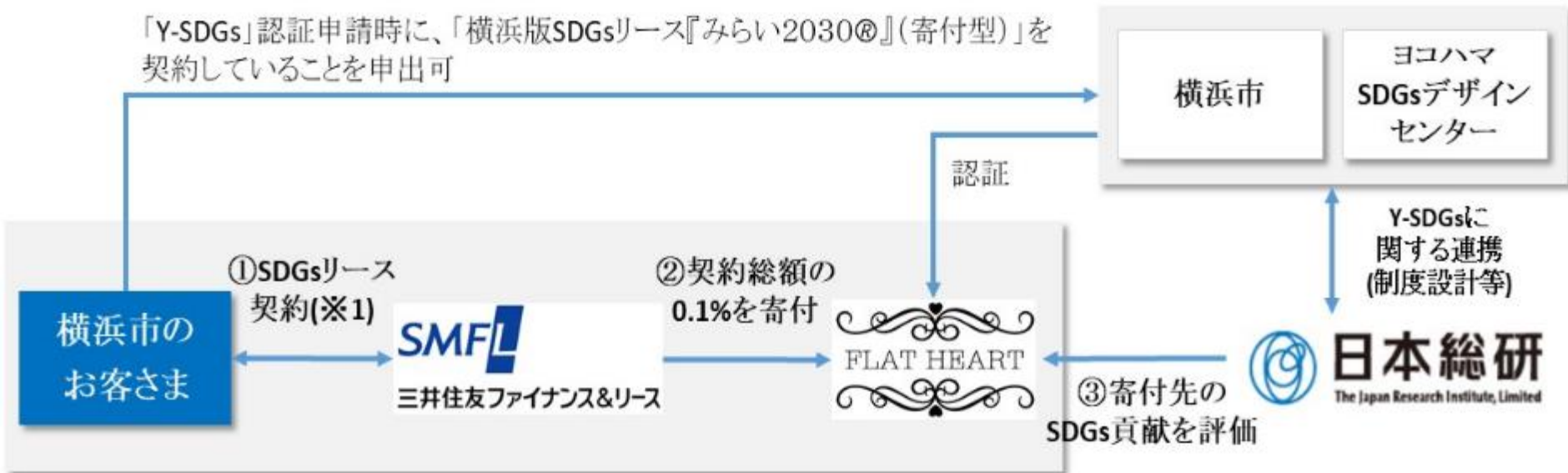
●ヤマシンフィルタ株式会社

概況：1956年の創業以来、一貫してフィルタ製品の開発・製造・販売を行ってきた専門メーカーである。2020年3月の業容は、売上高12,674百万円、営業利益777百万円となっている。神奈川県横浜市に本社を置き、従業員数は2020年3月末現在700人（連結）。

主な業務：建設機械用フィルタおよびエアフィルタ製品の開発・製造・販売業務である。営業所および工場は、国内に3つの研究開発施設（横浜開発センター、横須賀メディアラボ、新研究開発拠点）を含む5拠点及び子会社1拠点、海外に子会社6拠点（フィリピン・アメリカ・ベルギー・タイ・中国）である

- ✓ 2021年6月10日、三井住友ファイナンス&リースは、横浜市と連携協定を締結し、
- ✓ 寄付つきリース「SDGsリース『みらい2030®』(寄付型)」とY-SDGsの連携を発表。
- ✓ 2021年3月にY-SDGsを認証取得した非営利団体(注)に対し、21年度に横浜市で契約したリース契約手数料の一部を寄付。

「横浜版SDGsリース『みらい2030®』(寄付型)」のスキーム図



(※1) リース契約以外(延払契約等)も対象

(注) 地域における障がい者とその家族の生活支援、就労支援等に取り組む特定非営利活動法人フラットハート(横浜市港北区)を指す。

認証価値の向上案：金融機関の活用促進 Y.S.DC

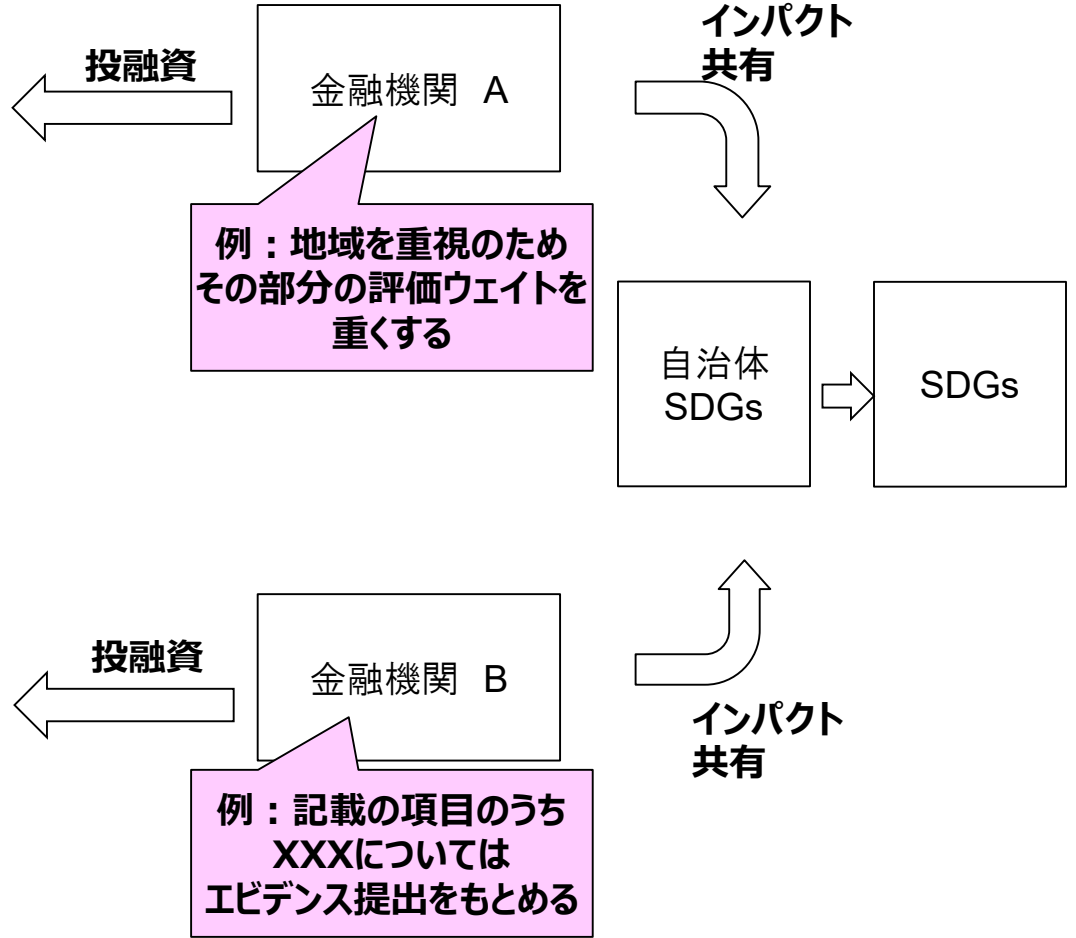
- ✓ 地域金融機関が、独自に活用頂くことも将来的には考えられないか
- ✓ ESGLのどれかにウェイトを置く方法や追加情報を求めるなど様々な方法がある

A社 XX自治体 SDGs 認証 ★★Grade

社会	YK-S-1	労働安全衛生
	YK-S-2	多様な人材活躍
	YK-S-3	女性の活躍促進
	YK-S-4	多様な働き方
	YK-S-5	従業員の人材育成・能力強化
	YK-S-6	サプライヤーへの配慮
	YK-S-7	顧客に対する配慮
	YK-S-8	製品・サービスを通じた社会課題の解決
環境	YK-E-1	環境マネジメント・コミュニケーション
	YK-E-2	気候変動への取り組み
	YK-E-3	水の効率的な利用・管理
	YK-E-4	廃棄物・有害化学物質の適切な管理・3Rの推進
	YK-E-5	天然資源・生物多様性への配慮
	YK-E-6	製品・サービスを通じた環境問題の解決
ガバナンス	YK-G-1	公正な経済取引
	YK-G-2	情報セキュリティ
	YK-G-3	企業統治体制の構築
	YK-G-4	企業の社会的責任
	YK-G-5	事業継続と事業継承

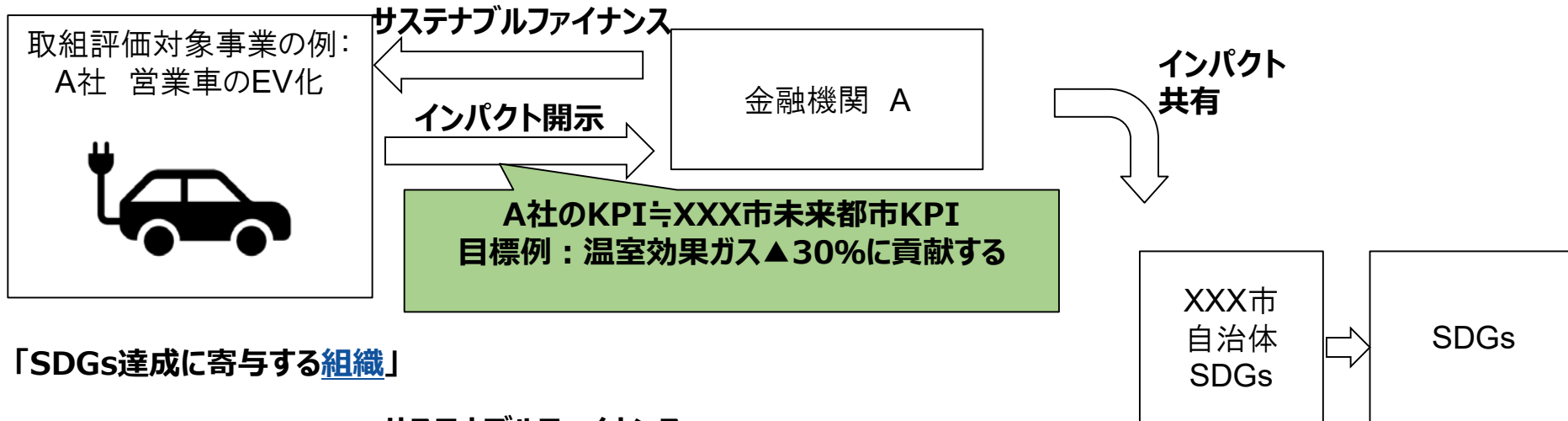


地域 (横浜)	YK-L-1	横浜型地域貢献企業認定
	YK-L-2	横浜地球温暖化対策事業者認定
	YK-L-3	横浜地域における雇用促進
	YK-L-4	横浜市内の地域コミュニティへの配慮
	YK-L-5	横浜地域における文化・芸術活動の促進
	YK-L-6	製品・サービスを通じた地域課題の解決

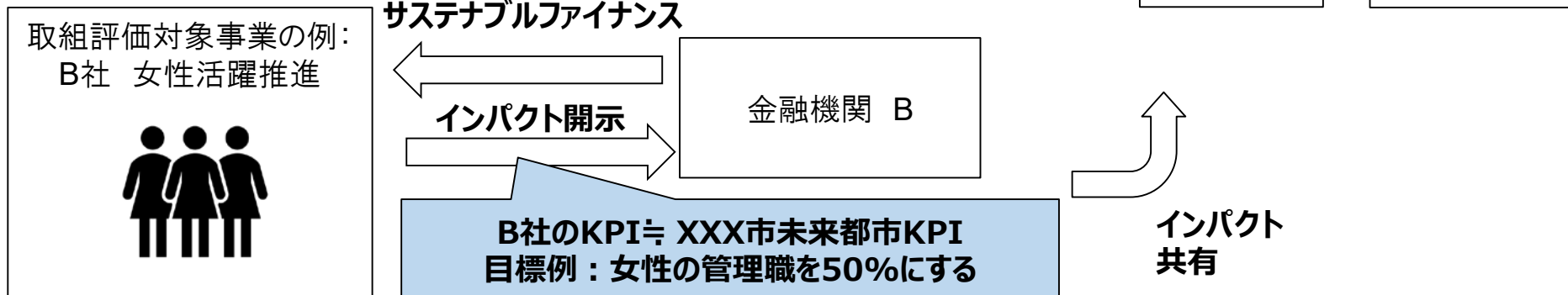


- ✓ 昨今増加しているサステナブルファイナンス（例：サステナビリティ・リンク・ローン、ポジティブ・インパクトファイナンス等）との相性も悪くないのではないか。
- ✓ 未来都市のKPIと、金融機関と事業者による金融活動を紐づける仕組みが重要

「SDGs達成に寄与する事業」

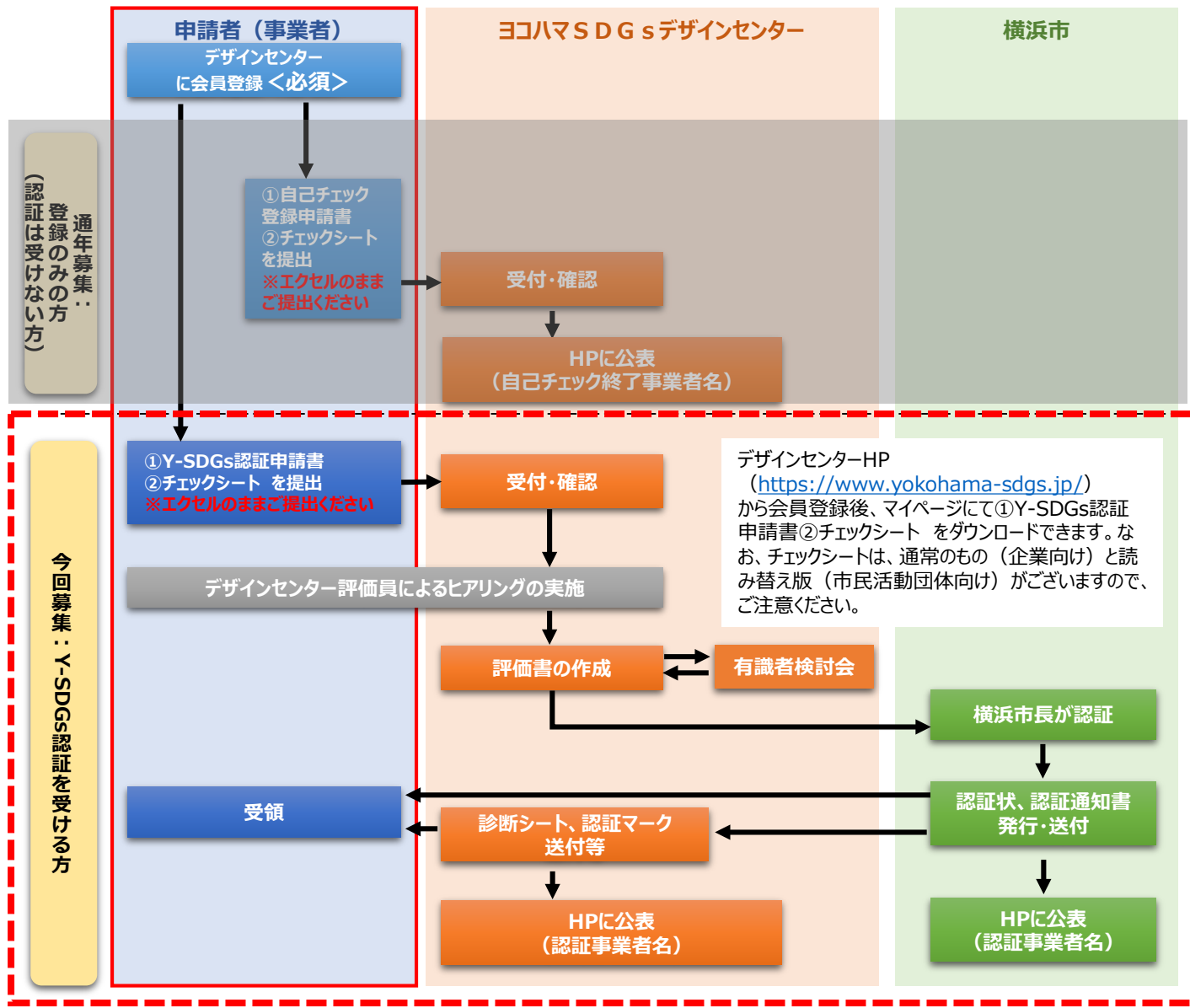


「SDGs達成に寄与する組織」



Y-SDGs認証の運用





- 有資格者(中小企業診断士)がヒアリングを行う。(現在、5名体制)
- 申請書類に記載された申請者の取り組み内容について、エビデンス(証拠書類)を確認したり、取組内容を詳細に伺う。
- 申請書類の内容とヒアリングで伺った内容をベースに、評価書を作成する。

- ヒアリング時に、評価項目の趣旨を理解していない人がいるため、「例えば、●●のような取組をしていませんか?」と必ず聞くようにしている。
- 例えば、「ハラスメントの対策を行っています」だけではどのような取り組みをしているかわからないので、より具体的に、どのような対策を行って、どのような効果が出ているのかまで確認するようにしている。

横浜市SDGs認証"Y-SDGs"チェックシート

チェック日付	年 月 日
事業者名 (登録単位)	
担当者連絡先	電話： メール：
担当者ご氏名	

ID	分類	実施 チェック ✓を記入 ください	評価項目	取り組みの具体例	御社の取り組みについて	項目に関連する 主なSDGsの 目標・ターゲット
				*以下に記載ある項目の一つでも取り組んでいる場合はチェック☑してください。 *なお、以下は例示であり、記載内容に限定するものではありません。	*左記の取り組みの具体例を参考に、御社の取り組みを具体的にお書きください。	
YK-S-1	安全・衛生管理、健康経営		●職場における安全・衛生管理に取り組んでいる。	・作業中の事故等を防ぐための職場の安全対策ルールがある。 ・安全衛生優良企業公表制度認定(厚生労働省)を取得している。 ・「ISO45001」、「OHSAS18001」など、労働安全衛生に関する認証を取得している。		3.4, 8.5, 8.8
			●健康経営に取り組んでいる	・長時間労働を抑制する取り組みがある。 ・社員の健康促進のための活動(福利厚生でのジム利用助成など)を実施している ・従業員向けにメンタルヘルスの意識啓発、研修を実施している。 ・カウンセラーなどへの相談体制を整備している。 ・「横浜健康経営認証」を取得している。		3.4, 3.8
YK-S-2	多様な 人材の活躍		●外国人、障がい者、高齢者等、社内の多様な人材の活躍支援に関する取り組みがある。	・外国語対応や、障がい者、高齢者向けバリアフリー設備の設置など、職場環境を整備している。 ・多様な人材のための人材育成や教育制度の充実を図っている。		4.4, 4.5, 5.1, 8.8, 10.2, 10.3, 10.4
			●社内のハラスメントを防止するための取り組みを進めている。	・セクハラ、マタハラ、パワハラなどを防止するためのルール・制度構築、教育の実施、相談体制が整備されている。		5.1, 5.2, 8.8, 10.2, 10.3, 16.1

- 申請者には、評価結果についてフィードバックを行っているほか、ご希望に応じて、コーディネーターが、今後どのような取り組みをしていくべきか、ご相談に応じている。

- ✓ ご相談後すぐ、取組の向上を図る事業者も多くみられる。**(電力契約を再エネへ切り替えなど)**
- ✓ ランクアップが図れるのではないかと考え、すぐに再申請を出す事業者もいる。

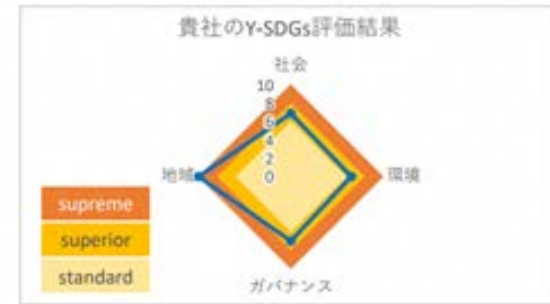


ランクアップを図りたいと思う事業者の取組内容などを確認しつつ、改めて、なぜその取り組みを行ったのか確認を取る

横浜市SDGs認証制度「Y-SDGs」診断結果のお知らせ

貴社より、2021年1月20日に申請がありました、Y-SDGsの診断結果が確定致しましたのでお知らせ致します。

【申請者】	！様	Y-SDGs - superior -
【診断結果】	★★ Superior	



特に優れておられる点

貴社の取組はSDGsの達成に高く貢献しておられます。

特に「地域の側面」における横浜市内の地域コミュニティへの配慮などの優れた取り組みを通じて、

SDGsの「目標11」「目標17」に貢献しておられます。

今後の取組について

今後、特に「ガバナンスの側面」で企業統治体制の構築の取り組みを強化され

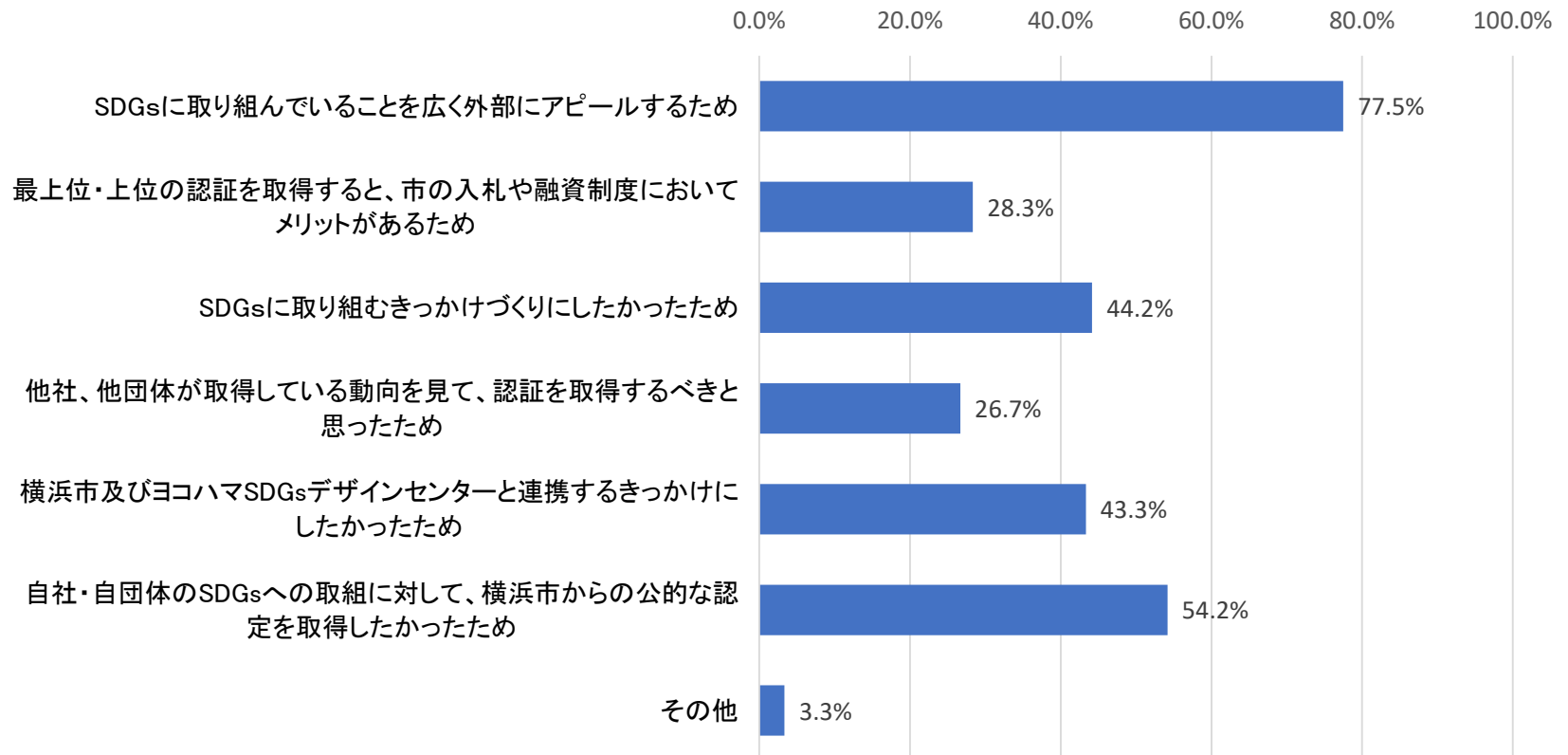
SDGsの達成に向けて、更なる高みを目指していただくことをお願いたします。

* 本認証の期間は取得月から原則2年間です。有効期間中に評価内容の大きな変化があった場合は再度評価をうけることも可能です。

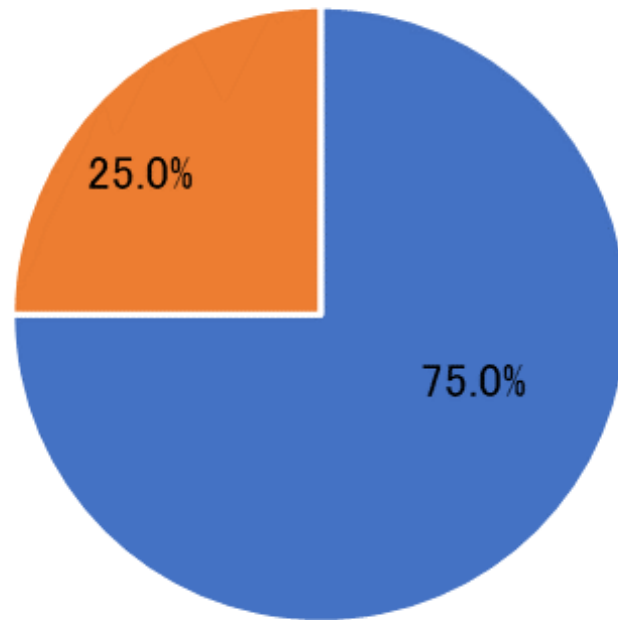
* 問合せ：ヨコハマSDGsデザインセンター Y-SDGs窓口 contact@yokohama-sdgs.jp

- 調査対象: 第1回～第3回まで認証取得した事業者195者
- 調査期間: 2021年7月20日～2021年8月24日
- 回収率: 61.5% (120者)

貴社・貴団体がY-SDGs認証制度を取得しようと思ったきっかけは何ですか。(複数回答可) (n=120)



認証を取得して社内外(団体内外)で
変化したことはありますか。(一つだけ
選択)(n=120)



■ ある ■ ない

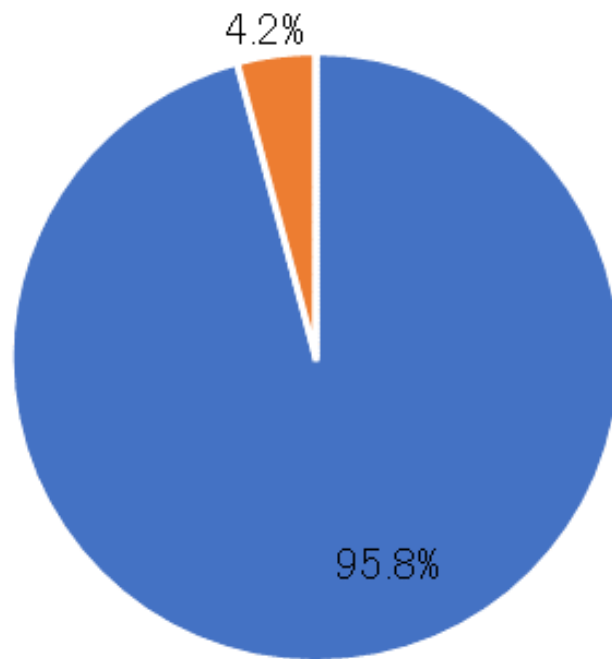
「ある」と回答された方について、どの
ような変化がありましたか。(n=90)

認証取得により、

- SDGsに取り組む企業としての認知度がアップした
- 対外的に取り組みの説得性が増した
- 従業員のSDGsへの認識が深まった
- 取引先や金融機関から声をかけられるようになった
- 取材を受けた

などの変化を上げる企業・団体が
多かった。

貴社・貴団体が認証取得したことについて、どのようにお考えですか。(一つだけ選択)(n=120)



- 認証を取得してよかった
- どちらともいえない
- 認証を取得しなければよかった

今後、認証制度にどのようなことを期待しますか。(自由記述)(n=120)

今後、認証制度に期待することとして、

- 認証取得者同士の交流会の実施
- 認証取得者との事業連携
- 金融機関による金利優遇措置
- SDGsの取組事例の情報発信
- 自社の取組のPR活動支援

を望む声が多かった。